

この通信は、部会の様子をお伝えし、関連する機関のみならずとの情報共有をめざして発行しています。

平成29年12月20日 世田谷区自立支援協議会地域移行部会を開催しました！

区内外から47名とたくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。

* 地域移行部会では、毎回テーマを設け、精神科病院に入院している方の地域移行に向けた支援の在り方や課題について検討しています。



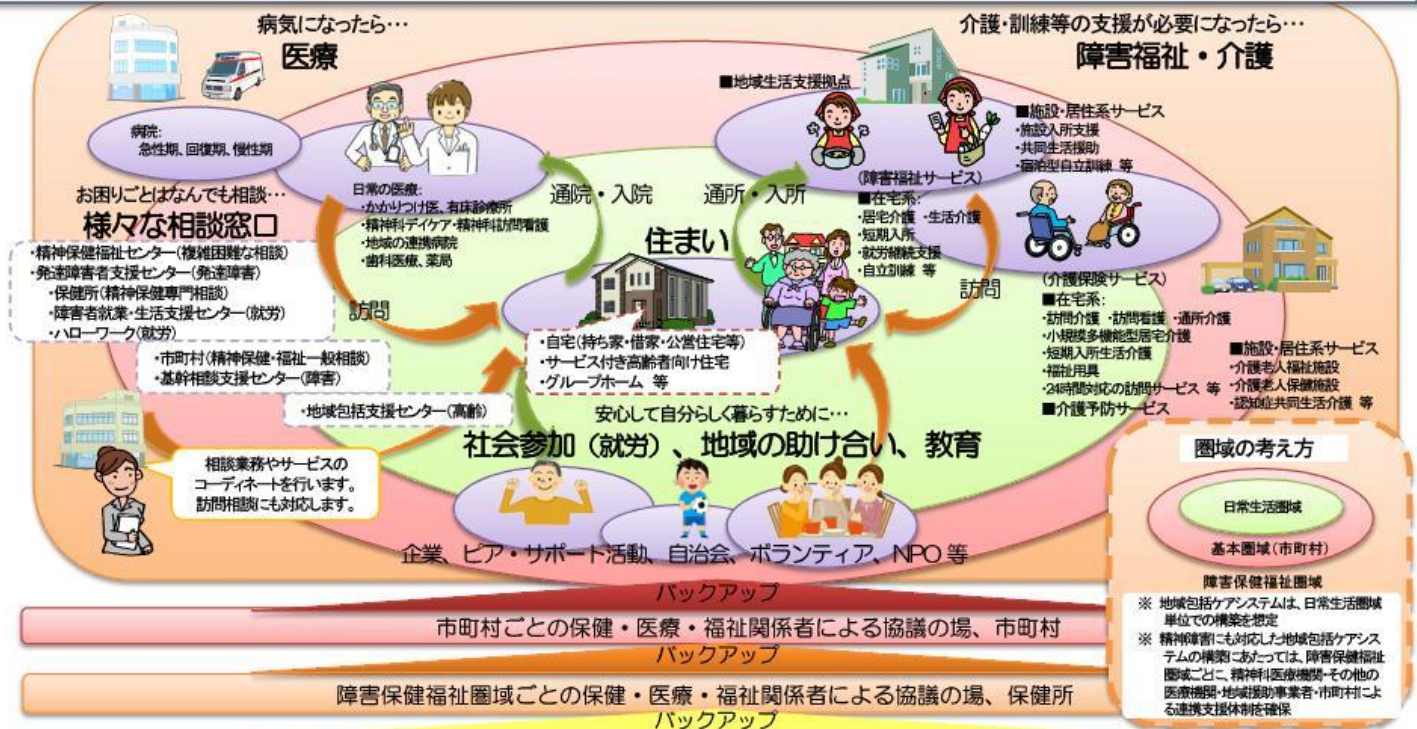
*** 今回のテーマ ***

「退院後のすまいを考える ～それぞれの退院先 それぞれの生活～」

今回の部会では、地域移行コーディネーターの金川さん（サポートセンターきぬた）より第5期障害福祉計画における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」と、退院後のすまいについて説明があり、その後、病院から退院後に、グループホーム、アパート、家族の下で生活をされた当事者の3名より体験談をお話いただきました。その後、グループワークにて、退院後のすまいに関する意見交換をいたしました。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築とは・・・

精神障害者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることを目指しています。

住まいを中心として、安心して自分らしく暮らすために、**社会参加（就労）**・**地域の助け合い**・**教育**の場が確保され、介護・訓練等の支援が必要になったら**障害福祉・介護**、病気になったら**医療**を受けられる地域の体制を作ることです。

地域移行部会でも、地域包括ケアシステムの構築を視野に入れて活動していきたいと思っています。



世田谷区の長期入院患者数と地域移行の目標

●東京都より、世田谷区内の長期入院者数の調査結果が発表されました。（平成29年11月30日）

長期入院者数（平成29年6月30日時点）…**565人**
（65歳以上356人、65歳未満209人）

精神病院に1年以上入院している世田谷区民565人のうち、約24.6%にあたる、139人が、これから3年間で病院を退院して、地域で暮らせるようにという目標値が都より示されました。



●また、平成30～32年度の3年間に、長期入院者の地域移行（退院して地域で生活をする人）の目標値も発表されました。

平成30～32年度の地域移行に伴う基盤整備量…**139人**
（65歳以上80人、65歳未満59人）



当事者の体験談より

（退院後にグループホーム・アパート・実家で生活されている方）

退院してよかったこととして、自分のペースで生活ができること、仲間と一緒に活動したり、役割を見つけたり、打ち込むものや将来の目標を見つけられたことをお話いただきました。

●「病院から退院後、グループホームで生活をされた経験から」

家族の思いと、自分の思いが噛みあわず、悩んだこともありましたが、グループホームで自分の思いが尊重され、前向きになれました。趣味を究めて、絵で食べていきたいという夢に向かって頑張っています。

●「病院から退院後、アパートで生活をされた経験から」

退院したいとの思いが医療スタッフに伝わるまで、時間がかかりました。趣味の「株」に打ち込むことが一番楽しい時間です。

●「病院から退院後、家族のもとで生活をされた経験から」

「MOTA」（地域生活支援センター）で仲間と一緒に、茶話会や料理、祭りでの販売ブース出店など、頑張っています。A病院にてピアの電話相談員としても活躍しています。

地域移行部会では引き続き、精神科病院に入院している方への退院促進に向けた支援のあり方や課題を検討します。次回の部会も、皆様のご参加をお待ちしております。取り上げたいテーマや事例などありましたら、下記までご連絡ください。

事務局

世田谷保健所健康推進課こころと体の健康担当

電話 03(5432)2947

Fax 03(5432)3022